

学校教育目標	進んで勉強しよう 思いやりのある人になろう 進んで心身をきたえよう	【目指す学校像】	1生徒が安全で安心して生活できる学校 2将来の夢や目標の実現に向けて生き生きと生活できる学校 3伝統と創造を重んじ、生徒・保護者・地域が共に支え合う学校
		【目指す児童・生徒像】	1探求心・創造性をもち、学び続ける生徒 2多様性を認め、正義を大切にできる生徒 3心身の健康を目指し、己を鍛える生徒
		【目指す教師像】	1人権を重んじ、生徒一人一人の良さを認め、言葉を大切にす教師 2専門性、指導力を磨き合い、組織として高め合う教師 3豊かな人間性を備え生徒・保護者・地域から信頼される教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	基礎的・基本的な知識・技能の確実な育成と個に応じた指導の充実	ICT機器を効果的に活用した多様な指導方法の実践	デジタル教材やアプリを活用した学習効率を高める授業の実施	4 1 定期的授業の分析・改善を行った90%以上	4	4 1 「振り返り」が学習の定着に役立っている90%以上	4	生徒90.8%と中間時より0.7%上がった。若干ではあるが、授業改善の成果が表れた。	基礎基本を大切に、組織的な授業改善に意欲的に取り組んでいる。	4	授業力向上アドバイザー事業での学びを今後も活かし、更に効果的な振り返りを実践していく。
				3 2 定期的授業の分析・改善を行った80%以上		3 2 「振り返り」が学習の定着に役立っている80%以上					
				2 2 定期的授業の分析・改善を行った70%以上		2 2 「振り返り」が学習の定着に役立っている70%以上					
豊かな心	自らを高め、多様性を尊重する態度と豊かな感性、創造力、表現力の育成	学習意欲の向上と家庭学習の定着	課題の出し方の工夫と学習計画表の活用	4 1 家庭学習への指導を毎週行った80%以上	4	4 1 家庭学習の時間が平均1〜2時間が80%以上	2	生徒60.1%で中間時より約10%上がった。1・2年生の取組を強化していくことが課題である。	組織的に家庭も巻き込み、家庭学習の習慣を確立できるよう支援することが必要である。	2	家庭学習の習慣がない生徒が多いので、短時間でも机に向かう習慣を付けさせる取組が必要である。
				3 2 家庭学習への指導を毎週行った70%以上		3 2 家庭学習の時間が平均1〜2時間が70%以上					
				2 2 家庭学習への指導を毎週行った65%以上		2 2 家庭学習の時間が平均1〜2時間が60%以上					
豊かな心	自らを高め、多様性を尊重する態度と豊かな感性、創造力、表現力の育成	生命尊重の精神の育成を基盤とした高い人権感覚を培う教育活動の実践	いじめ根絶の働き掛けとふれあい月間の取組の充実	4 1 生徒の変化を見逃さないように努めた100%	4	4 1 落ち着いて安心して生活できている100%	2	生徒92.5%で中間時に比べ0.7%減少。2学期以降の生活指導の発生活況が影響している。	命の大切さ、人権尊重の意識を高めていく。	3	研修を実施し、いじめの未然防止、早期発見、初期対応について、個々の教員の力量を高めていく。
				3 2 生徒の変化を見逃さないように努めた95%以上		3 2 落ち着いて安心して生活できている95%以上					
				2 2 生徒の変化を見逃さないように努めた90%以上		2 2 落ち着いて安心して生活できている90%以上					
豊かな心	自らを高め、多様性を尊重する態度と豊かな感性、創造力、表現力の育成	多様で豊かな教育活動による自己有用感の醸成	集団の一員としての自覚をもち、個性を認め、協力し合える生徒の育成	4 1 生徒の心に寄り添い、良さを活かす支援を行った「はい」が90%以上	4	4 1 他者と協力し、達成感を味わえる体験ができた100%以上	3	生徒96.1%で中間時より6.8%上昇。行事の中で生徒主体の取組ができた。	多様な教育活動が見られ、生徒は落ち着いた生活を送ることができている。	4	達成感のある取組が維持できるように学校全体でノウハウを共有していく。
				3 2 生徒の心に寄り添い、良さを活かす支援を行った「はい」が70%以上		3 2 他者と協力し、達成感を味わえる体験ができた90%以上					
				2 2 生徒の心に寄り添い、良さを活かす支援を行った「はい」が60%以上		2 2 他者と協力し、達成感を味わえる体験ができた80%以上					
豊かな心	自らを高め、多様性を尊重する態度と豊かな感性、創造力、表現力の育成	他者理解を心掛け人間関係における課題を見つけ解決していく生徒の育成	学級活動・行事・生徒会活動・部活動等における円滑な人間関係の構築	4 1 生徒一人一人が活躍できる教育活動を行った「はい」が90%以上	4	4 1 行事、学級活動を通して思いやりのある行動がとれた100%	3	生徒95.2%で中間時より2.2%減少したが、高水準は維持できている。リーダーの育成が課題。	継続して、他者への理解を深めていく。	3	思いやりの気持ちをもって他人と関わり、支え合える集団作りを教員が意図的に支援していく。
				3 2 生徒一人一人が活躍できる教育活動を行った「はい」が70%以上		3 2 行事、学級活動を通して思いやりのある行動がとれた90%以上					
				2 2 生徒一人一人が活躍できる教育活動を行った「はい」が65%以上		2 2 行事、学級活動を通して思いやりのある行動がとれた90%未満					
健やかな体	健康的な生活習慣・食習慣による、心身ともに健やかな生徒の育成	自ら健康管理のできる生徒の育成	早寝・早起き・朝ごはんの取組の働きかけ	4 1 生徒の生活習慣の改善を助言・指導した95%以上	3	4 1 自ら進んで生活習慣の改善に努めた95%	1	生徒83.9%で中間時より6.9%減少し、昨年度より数値にも届かず受験勉強による睡眠不足もある。	家庭を巻き込みながら、生活習慣を整える必要がある。	2	生活習慣の乱れによるリスクを保健だよりでも発信し、家庭の支援も呼びかける。
				3 2 生徒の生活習慣の改善を助言・指導した85%以上		3 2 自ら進んで生活習慣の改善に努めた90%以上					
				2 2 生徒の生活習慣の改善を助言・指導した80%以上		2 2 自ら進んで生活習慣の改善に努めた85%未満					
健やかな体	健康的な生活習慣・食習慣による、心身ともに健やかな生徒の育成	食に関する知識・理解・実践力を高め、健康的な食生活の推進	栄養士と食育担当の連携による給食指導を活用した食育の推進	4 1 食事のマナーや食文化等の指導を行った100%以上	1	4 1 食育で学んだ知識を生活に生かしている100%	1	生徒74.5%で中間時より11.5%の減少。自己の生活に取り入れられる指導を充実させることが課題。	必要な対応を継続し、食の知識や食べ物のあるがたさを教える。	3	栄養士と食育担当者の関係も合わせて指導をしていく。
				3 2 食事のマナーや食文化等の指導を行った80%以上		3 2 食育で学んだ知識を生活に生かしている80%以上					
				2 2 食事のマナーや食文化等の指導を行った80%未満		2 2 食育で学んだ知識を生活に生かしている80%未満					
健やかな体	健康的な生活習慣・食習慣による、心身ともに健やかな生徒の育成	体力向上に向けた教育活動の推進	体育の授業、行事、昼休みの校庭開放、部活動等を通じた運動習慣の確立	4 1 運動に親しみ取り組みを行った90%以上	1	4 1 学校でたくさん体を動かしている90%以上	3	生徒83.9%で中間時より17.2%上がった。運動に適した気候になったと考える。	体力はあるが、今後も継続した取り組みが必要である。	3	気候により運動量の制限は出てくるが、授業や部活動を通じて、運動習慣の確立に努める。
				3 2 運動に親しみ取り組みを行った75%以上		3 2 学校でたくさん体を動かしている70%以上					
				2 2 運動に親しみ取り組みを行った75%未満		2 2 学校でたくさん体を動かしている70%未満					
輝く未来	自己を見つめ、生き方を考えていくための資質・能力の育成	自己の将来を切り拓く、キャリア教育の推進	総合的な学習の時間を活用した自らの生き方を考え、自己決定していく指導の推進	4 1 生徒が主体的に課題解決できるように指導した80%以上	4	4 1 自分の生活を振り返り、よりよくしようと思う100%	2	生徒94.1%で中間時より1.4%上昇。評価は2だが2・3年生のキャリア教育の成果である。	必要な対応が行われている。将来をどのように考えていくのか、継続して取り組む必要がある。	2	自身の課題や強みを考え、よりよい生き方について自己選択できる機会を設ける。
				3 2 生徒が主体的に課題解決できるように指導した70%以上		3 2 自分の生活を振り返り、よりよくしようと思う95%以上					
				2 2 生徒が主体的に課題解決できるように指導した60%以上		2 2 自分の生活を振り返り、よりよくしようと思う90%以上					
輝く未来	自己を見つめ、生き方を考えていくための資質・能力の育成	自身の資質や成長を自己評価する取組の充実	行事や学期ごとのキャリアパスポートの活用	4 1 計画的にキャリアパスポートを活用した90%以上	1	4 1 自分の得意なことを考えることができた100%	2	生徒91.4%で中間時より13.3%上昇。評価は2だが2・3年生のキャリア教育の成果である。	必要な対応が行われている。キャリアパスポートも計画的に活用されている。	3	1年生でも自分の得意が生かせる活動について考え、得意なことを伸ばせる環境を作っていく。
				3 2 計画的にキャリアパスポートを活用した80%以上		3 2 自分の得意なことを考えることができた95%以上					
				2 2 計画的にキャリアパスポートを活用した70%以上		2 2 自分の得意なことを考えることができた90%以上					
輝く未来	自己を見つめ、生き方を考えていくための資質・能力の育成	目標達成までのプロセスを重視した指導の充実	生徒や保護者に寄り添い、丁寧かつ誠実な進路指導の実施	4 1 生徒が主体的に取り組めるよう指導した85%以上	4	4 1 将来の生き方について自ら進んで考えた95%以上	2	生徒86.6%で中間時より7.7%上昇。特に3年生が伸び、進路選択への真剣さが表れた。	先生方の指導はともでありがたい。	4	発達段階にあった進路指導の充実を図っていく。
				3 2 生徒が主体的に取り組めるよう指導した75%以上		3 2 将来の生き方について自ら進んで考えた90%以上					
				2 2 生徒が主体的に取り組めるよう指導した65%以上		2 2 将来の生き方について自ら進んで考えた80%以上					
輝く未来	自己を見つめ、生き方を考えていくための資質・能力の育成	目標達成までのプロセスを重視した指導の充実	生徒や保護者に寄り添い、丁寧かつ誠実な進路指導の実施	4 1 生徒が主体的に取り組めるよう指導した85%以上	4	4 1 将来の生き方について自ら進んで考えた95%以上	2	生徒86.6%で中間時より7.7%上昇。特に3年生が伸び、進路選択への真剣さが表れた。	先生方の指導はともでありがたい。	4	発達段階にあった進路指導の充実を図っていく。
				3 2 生徒が主体的に取り組めるよう指導した75%以上		3 2 将来の生き方について自ら進んで考えた90%以上					
				2 2 生徒が主体的に取り組めるよう指導した65%以上		2 2 将来の生き方について自ら進んで考えた80%以上					